



デイサービスエプロン便り

2025年 11月 10 日号

2025年 秋のご報告

今年も訪れました。 秋咲きのバラ！

光が丘・四季の香ローズガーデンは春も秋もハズレはありません。 無料ですし。



16年ぶり、床暖フローリング補修実施！

パテで補修し

フロア材張り替えました



鉢花販売



熟練バリスタ
による、淹れた
てコーヒーも！

作品展示や



新ホームページ
はこちらから！



毎年恒例 エプロンまつり開催！

『介護離職ゼロ』の政策を、先月代わった現政権も引き続き掲げています。

介護のために離職しない「仕事と介護の両立」について連載しています。

この連載を続けていて、今は元ネタは大手紙媒体=朝日新聞なのですが、そしてこの4月に育児・介護休業法の改正があったこともあり、介護と仕事についての記事が多く、紹介を続けています。前回に引き続き、8/31日曜日の朝刊にフォーラム「介護と仕事」、朝日新聞としてアンケート調査した結果(250回答)の掲載です。自由回答形式で母数も少なく世論調査のような統計的な意味はないとの事。回答者の7割は50・60代、その設問の二つめに、

■介護と仕事を両立するために、必要なことは何だと思えますか？

その回答として：

- ・最多回答91人 時短等、労働時間の短縮制度
- ・回答85人 職場や上司の理解
- ・回答60人 転勤、配置の転換
- ・回答55人 在宅勤務の拡充
- ・回答47人 短期間の介護休暇の拡充

2番目以降の回答が、またも筆者にはなんとも切なく感じます。

その心は、職場の人々の理解と、働く環境=休みやすくなる事と介護する家の近くで勤務し、出来ればテレワークが良い…

職場の人々の理解とは「育児に比べ介護は職場で話題になりにくい」「まだまだ介護は家庭内で解決すべきとの意識」などがあり介護者が負担を抱え込み、孤立化しない様な周囲の理解ということです。働く環境の整備は、遠距離介護は両立しにくくなるし、遠慮しないで休みやすくなれば、気持ち的に余裕が持てる。テレワークにしてくれれば尚更でしょう。

そして、介護のプロの支援を受けつつ両立して行くのですが、そのプロの事業所が今やせ細っています。他業種に比べ賃金が低く、人手不足…介護保険が持続可能なものになるにはどうすれば良いのか、考えは現在進行形で続きます。

11月の予定

銀杏並木見物
紅葉狩り外出

地震訓練・避難訓練
11月生まれの
利用者様誕生日会

♪デイサービスエプロンは定員
13名の小さなデイサービスです。
細やかな心配りとゆったりした
雰囲気大切にしています。
見学は随時受け付けております。
お気軽にお電話をどうぞ。

空き情報	月	火	水	木	金	土
利用	△	○	△	○	○	○
入浴	×	○	○	○	○	×

○空きがあります ×待機ができます △ご相談ください

デイサービスエプロン

〒177-0041 練馬区石神井町8-53-24
電話 03-6915-9320 FAX 03-6915-9316



※次号は1月10日発行予定です！